

多良木町訪問団のみなさん ようこそ南幌町へ！

7年目となる児童交流事業。今年度も昨年7月に南幌町の児童10名が多良木町を訪問し、民泊など現地の児童と交流を行いました。そして、2月4日から4日間の日程で恒松校長（久米小）を団長とした多良木町児童10名の訪問団が本町を訪れ、夏の訪問の恩返しに様々な体験を通して北海道の冬を満喫してもらいました。



1日目（2月4日）



なんぼろ冬まつり前夜祭のキャンドル点灯式に参加した後、歓迎レセプション会場のビューローに移動しました。



多良木町訪問団をスポーツセンターでお出迎え。半年ぶりの再会を楽しみに待ち、やつと会えました。

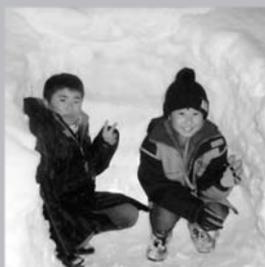


- ① 歓迎の言葉
大館香珀さん（南幌小）
- ② 訪問の言葉
恒松大喜君（多良木小）
- ③ 多良木町の紹介
佐藤志希君（多良木小）
北崎友貴君（久米小）
嶋田尚一郎君（黒肥地小）



歓迎レセプションでは両町の挨拶、多良木町の紹介等が行われ、終了後はそれぞれの民泊家庭へ向かいました。

♡ 民泊家庭にて ♡



2日目 (2月5日)



夕食はほろろで母さん達が準備した「南幌ママズビュッフェ」。美味しくて、たくさんいただきました。



札幌時計台やテレビ塔、さっぽろ雪まつりを見学。大様々な雪像に見入っていました。

3日目 (2月6日)



南幌小学校での全校集会で多良木町訪問団と南幌小学校全児童がゲーム等で交流しました。



北広島クラッセスノーパークでのスキー体験。前半は指導を受けて、1時間ほどで滑れるようになりました。



最後の夜は、保護者も交えた交流タイム。ゲームなどで楽しく過ごしました。



青年団体協議会の協力により南幌小学校グラウンドでスノーモービル体験やバナボートを楽しみました。

4日目 (2月7日)

今年も、新たな絆が生まれました。
この交流が来年、再来年と続き、たくさんの新たな絆が生まれることでしょう。



お別れの言葉

- ① 榊原愛加さん (南幌小)
- ② 西 季三葉さん (多良木小)

あっという間に、最後の日。南幌小学校でお別れ会が行われました。

♡民泊家庭にて♡

